

# タント(LA650/LA660 系)

## VSC アクチュエータ エア抜き

■対応車種:タント(LA650/660 系)

■対応年式:平成 31 年 7 月～

ブレーキアクチュエータ内にエアの混入が考えられる場合は、アクチュエータのエア抜きを行う必要があります。

以下に G-scan を使用して行う、タント(LA650/LA660 系)の『VSC アクチュエータエア抜き』の方法を記載しますので、参考にしてください。



- ・VSC アクチュエータのエア抜きは車両停止状態、車両が正常な状態(ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時)で実行してください。
- ・VSC アクチュエータのエア抜きを行っている間は、ブレーキディスクを回転させないでください。
- ・エア抜き中はリザーバタンク内のブレーキフルードが常にリザーバタンクを満たしている状態にしてください。

## アクチュエータ吸入系エア抜き

1. ブレーキ系統のエア抜き※を行ってください。
2. IG OFF の状態で、G-scan を DLC3 コネクタ(OBD16 ピン)に接続してください。
3. 左前輪のブリーダプラグを緩めて下さい。
4. IG SW ON の状態で、G-scan の電源を ON にして車種、システムを選択してください。システムは『ABS\_VSC』を選択して下さい。
5. 診断メニューにおいて、『作業サポート』項目を選択してください。



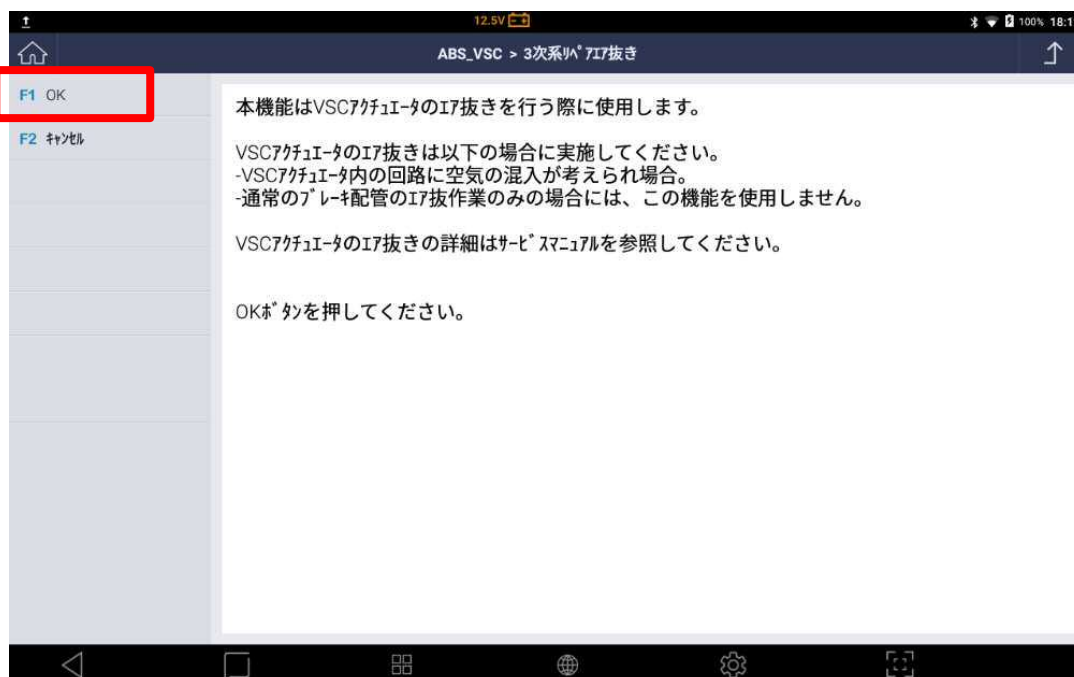
〈図: 作業サポートを選択〉

6. 『3次系リペアエア抜き駆動』の項目を選択してください。



〈図: 3次系リペアエア抜き駆動を選択〉

7. 注意メッセージを確認後、OK ボタンを押してください。



〈図: 注意メッセージの確認〉



〈図:注意メッセージの確認〉

8. エア抜きを行います。OK ボタンを押してください。





〈図：アクチュエータ駆動中〉



**参考:**

- ・ブレーキペダルは操作しないでください。
- ・アクチュエータ駆動により、左前輪ブリーダプラグからエアが出てきます。

9. 左前輪のブリーダプラグを仮締めしてください。

10. 3～9 の作業をエアが出なくなるまで行ってください。

**※注意※**

- ・前回のアクチュエータ駆動から 10 秒以上開けて作業してください。
- ・アクチュエータの駆動回数が連続で 2 回を超える場合は、必ず 60 秒以上空けて作業してください。

11. 右前輪についても同様に、3～10 の作業をエアが出なくなるまで行ってください。

## アクチュエータ減圧系エア抜き

1. 全輪のブレーダプラグが閉まっていることを確認してください。
2. IG ON 後、ブレーキペダルを踏み込み保持してください。
3. 『2次系リペアエア抜き駆動』の項目を選択してください。

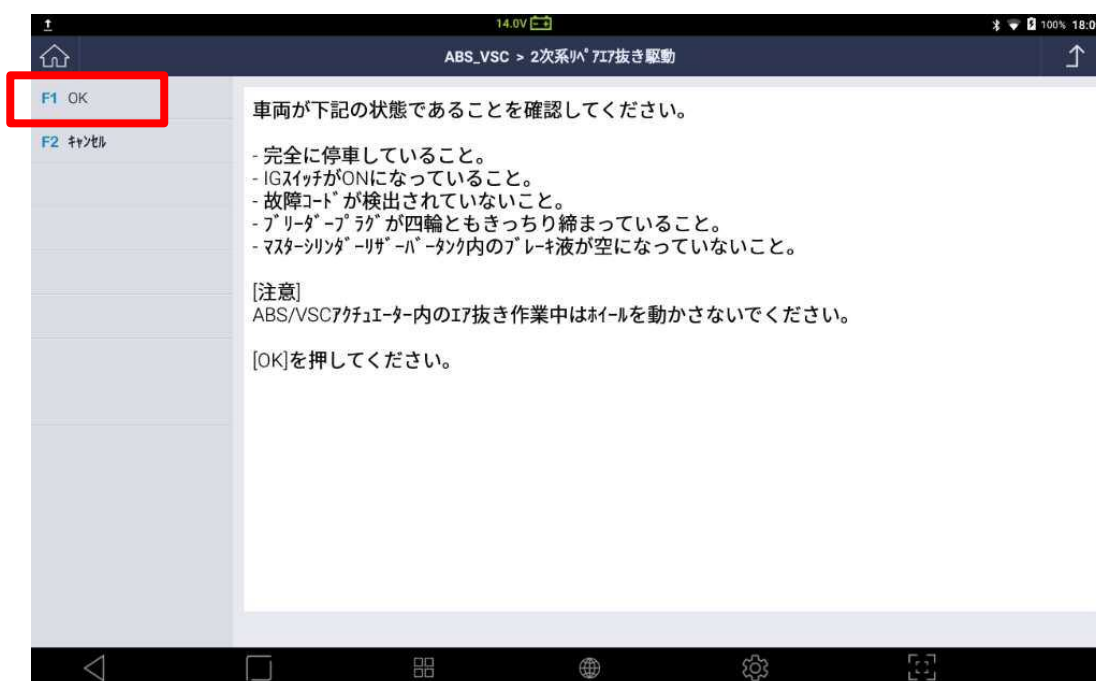


〈図: 2次系リペアエア抜き駆動を選択〉

#### 4. 注意メッセージを確認後、OK ボタンを押してください。



〈図: 注意メッセージの確認〉



〈図: 注意メッセージの確認〉



5. エア抜きを行います。ブレーキペダルを踏み込み保持した状態で、OK ボタンを押してください。



〈図: アクチュエータ駆動中〉



**※注意※**

・ブレーキペダルは踏み込んだまま保持して、ペダリングしないでください。

6. 左前輪のブレーキ系統のエア抜き(通常のエア抜き) **※**を行ってください。

7. 2～6 の作業をエアが出なくなるまで行ってください。

**※注意※**

・前回のアクチュエータ駆動から 10 秒以上開けて作業してください。

・アクチュエータの駆動回数が連続で 2 回を超える場合は、必ず 60 秒以上空けて作業してください。

8. 全輪についても同様に、1～6 の作業を行ってください。

9. 最後にブレーキ系統のエア抜き(通常のエア抜き) **※**を行い、各輪のブリーダプラグからエアが出ないことを確認してください。

10. ブリーダプラグを締め付けてください。

・フロントブレーキブリーダプラグ締め付けトルク:  $8.4\text{N}\cdot\text{m}$  {86kgf $\cdot$ cm}

・リヤブレーキブリーダプラグ締め付けトルク:  $8.4\text{N}\cdot\text{m}$  {86kgf $\cdot$ cm}

※ ブレーキ系統のエア抜き

1. リザーバタンクにブレーキフルードを補充してください。
2. ブレーキペダルを数回踏み込んでください。
3. ブレーキペダルを踏み込んだ状態で、ブリーダプラグを緩めてエア抜きを行ってください。
4. ブレーキフルードが勢いよく出なくなったら、ブリーダプラグを仮締めしてブレーキペダルを戻してください。
5. エアが出なくなるまで手順 1~4 の作業を繰り返し行ってください。
6. ブリーダプラグを締め付けてください。
7. リザーバタンクの液量を確認してください。
8. 手順 2~7 までの作業を各輪に対して行ってください。